

小児科医師 中原利郎先生の

過労死認定を支援する会ニュース

二年目「勝負の年」に

「支援する会」は、二年目の活動に入りました。昨年十一月十三日、東京・銀座で開いた第二回「小児科医の過労を考える集会」は成功裏に終了し、支援のネットワークを広げることができました。支援する会の総会も併せて開き、収支報告や活動報告を行いました。遺族は十二月七日、懸案であった行政訴訟（労災不認定取消訴訟）を提起。民事訴訟も今年は本格的な審理が行われる見通しです。これからの一年は、山場です。支援する会もますます強力な支援活動を行っていきたくと考えております。物心両面での御支援をよろしくお願いいたします。

第2回「小児科医の過労を考える集会」開く

東京・銀座の京橋プラザ区民館で

「支援する会」は十一月十三日午後二時から、東京・銀座の京橋プラザ区民館多目的ホールで、第二回「小児科医の過労を考える集会」を開いた。



「システムの不備の被害者」と位置づけた。その上で、システム整備のために日本各地で行われている具体的な模索を紹介。「市民を含む地域の総力

戦でなければ未来図は描けない。市民の側にも痛みを共有する想像力が求められている」と訴えた。

講演後の質疑討論では、昨年の講演者である大矢幸弘・成育医療センター小児科医長が、アメリカで研修医の労働時間を制限したら医療事故の減少につながった、という最近の報告を紹介。他にも先進各国の平均

あなたの子供のいのち、 疲れ切った小児科医にまかせますか？

「小児救急で起きていること」と題して講演を行った読売新聞・鈴木敦秋記者は、小児救急の態勢不備や質的不備のために亡くなった岩手県一関市の佐藤頼ちゃん、東京・葛飾の豊田理貴ちゃんの事件と中原先生の過労自殺を並べて取



原稿を読んだ中原のり子さんは「涙なしには読めない。ぜひ多くの方にお読みいただきたい」と話している。

● 近日出版 ● 鈴木記者の著書

集会で講演した「支援する会」の会員で読売新聞社会保障部記者の鈴木敦秋さん（写真・上）が、中原利郎さん遺族に取材した本を出版する。講演でもふれた豊田さん、佐藤さんの事例と併せた内容で、原稿は既にほぼ完成。春には講談社から出版の予定だ。

仲間になつて ください！

問い合わせ先：小児科医師中原利郎先生の過労死認定を支援する会「事務局」 東京都中央区新川一・十一・六 中原ビル
電話 090-9975-9577

に比べて著しく医師の絶対数が少ない点を広く訴え改善を求めるべき、という指摘など活発な質疑があった。

集会では他に、中原のり子さん、守月理会長の挨拶、弁護士からの裁判の報告の他、小児救急の不備の犠牲になった豊田理貴ちゃん之母、豊田郁子さんからのメッセージや、かつての中原医師の患者家族からの手紙も紹介された。「支援する会」の総会も行われ、収支報告や活動報告、活動予定が説明された（下段参照）。

第1期(H15.8～H16.8)収支報告書

| 収入摘要 | | 金額 |
|---------|----------------|---------|
| 会費収入 | | 716,450 |
| 利息収入 | | 3 |
| 合計 | | 716,453 |
| 支出摘要 | | 金額 |
| 交通・通信費 | 会報送付切手代金他 | 136,985 |
| 事務用消耗品 | 会報用紙、北一代、封筒他 | 39,905 |
| 施設利用料 | 「支援の会」施設使用料 | 12,300 |
| 報酬手数料 | 「支援の会」講師謝礼 | 130,000 |
| 食料品費 | 「支援の会」・役員会他お茶代 | 50,519 |
| 郵便振替手数料 | 会費入金時手数料 | 12,810 |
| 翌期繰越金 | | 333,934 |
| 合計 | | 716,453 |

一期目の報告と会員継続のお願い

●活動報告と予定 「小児科医の過労を考える集会」：十五年十一月十五日に第一回、十六年十一月十三日に第二回、十六年十一月十三日に第二回を開催。他に十六年四月、内部の勉強会を開催。今後も随時、一般向けの集会や勉強会を開催予定。署名活動は、十六年一月に都労働局への署名一七〇三筆を提出。現在は厚生労働大臣への署名を継続中で、大臣に手渡すことが当面の目標。会報をほぼ季刊で発行。現在発行部数は約五百部。ホームページは開設一年でアクセス数二万二千件。

●収支報告 左表のとおり。会計担当役員の郡司登がとりまとめ、会計監査担当役員の高橋克典が監査を行い、十一月十三日の総会で報告した。

●会員継続のお願い 「支援する会」の活動は皆さんの会費に支えられています。継続的な御支援をよろしくお願いいたします。会報に会費振込用紙を同封させていただきます。既に二期目以後の会費もお支払いいただいている方には、失礼をお詫びいたします。どうぞ御容赦ください。

